





工事・会計管理部 成果報告

工事・会計管理部長 上 道 悟

部局達成度

			
-	4	-	-

総 括

計画的で効果的な行政運営を目指す中、職員の技術水準の向上と技術継承を図るため、研修計画に基づいた研修や最新技術等の情報提供を行いました。また、コスト構造改善や現場の安全管理を推進し、適正な公共工事の執行及び品質確保のため、設計時における審査、施工中及び履行時における監察及び検査を行いました。さらに、適正な公金管理と出納に関する厳密な審査を行いました。

具体的には、工事のコスト構造改善のみならず、技術的な創意工夫の取組も対象とした技術研究発表会の開催や、各種の職員研修等を行いました。また、適正な施工体制の確保のため、工事監察パトロールや監督職員等に工事監察実地研修を実施しました。

さらに、適正な会計事務の執行を確保するため、会計事務についての研修や適正な経理手順の周知、指導等を実施し、職員の資質向上に努めました。

今後も、事務事業執行部門から独立したチェック機能を持つ部として、工事管理においては、適切な公共施設の建設・改修のため、設計から履行までの審査、監察及び検査を行います。また、会計管理においては、適正な会計事務処理の徹底を図っていきます。

組織目標ごとの達成状況

- ・適正で合理的な公共事業推進のため、審査、検査及び監察を通して公共工事のコスト構造の改善と品質確保及び現場の安全管理を推進するとともに、建設系技術職員の研修や、技術的な指導・助言を実施します

建設系技術職員の人材育成については、技術職員研修計画に基づき、監督職員や主任監督職員研修の外、測量実務や労働安全衛生に関する専門研修を開催するとともに、OB職員による技術継承研修を実施し、職員の意識改革と技術力向上を図りました。

コスト構造改善業務の推進については、コスト構造改善マネジメント指針に基づき、研修会や公共工事に関する最新の情報提供を通して、職員の i-Construction 等に関する知識向上に加え、現場の働き方改革について、周知啓発を図りました。

また、第7回目となる技術研究発表会を実施し、職員の技術力及びプレゼンテーション能力の向上に取り組みました。

工事現場の適正な施工体制の確保については、パトロールを通じ監督職員及び受注者に対して指導、助言を行い、適正な施工体制を確保するよう促しました。


さらに、工事監察実地研修を行い、適正な施工体制の理解や意識を高めることに取り組みました。

. 適正な会計事務を継続的に確保していくため、職員の実務能力の向上を図るとともに、公金の安全かつ効率的な運用に努めます

法令・規則に基づく収入・支払事務等が適正に行われるよう、職員を対象に会計事務研修会を開催し、会計事務能力のスキルアップを図りました。

また、定期監査後の処理手順を見直すなどチェック体制の強化を図り、適正な会計事務の執行に努めました。

公金管理においては、日々の収入・支出見込みを正確に把握し、細心の注意を払い資金管理を行うとともに、安全かつ確実な方法できめ細やかに運用しました。

2	コスト構造改善業務の推進	達成度	
実行内容			
目標	<p>コスト構造改善マネジメント指針に基づき、コスト構造の改善と品質確保の取組を継続するとともに、担い手確保やインフラ老朽化対策、建設現場の生産性向上を加えた施策の実施について、研修会等を通じて監督職員に周知・啓発を図ります。</p> <p>また、公共工事等技術研究発表会の開催を通じ、技術力、プレゼンテーション能力の向上に繋げることで、職員の資質向上を図ります。</p> <p>さらに、国が進める i-Construction 及び建設業における働き方改革について、発注者の立場から、積極的な情報収集に努め、推進します。</p>		
	取組内容	<p>コスト構造改善専門部会研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月24日 第1回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催（参加者18名） 平成30年度の実績報告及びコスト構造改善マネジメント指針の説明 ・ 10月21日 第2回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催（参加者13名） 令和元年度の間接報告及び第2回目研修 ・ 2月14日 第3回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催（参加者18名） コスト構造改善施策や働き方改革に係る施策等に関する研修 <p>国土交通省出前講座を活用した研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月3日 公共事業コスト構造改善研修会（参加者46名） 講演 『i-Construction（ICT建設機械による情報化施工）の活用事例』 講師 国土交通省 近畿地方整備局 企画部 建設専門官 武本 昌仁 氏 <p>公共工事等技術研究発表会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月28日 公共工事等技術研究発表会（参加者77名（発表者23名、聴講者54名）） 各所属のコスト構造改善等の技術的な創意工夫の取組事例発表 7課9事例の発表 <p>コスト構造改善に関する相談、指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計審査等（312件） 	
数値指標			
目標	結果・成果		
	<p>コスト構造改善専門部会研修の開催 （i-Construction、働き方改革含む）：3回</p> <p>国土交通省出前講座を活用した研修の開催 ：1回</p> <p>公共工事等技術研究発表会の開催：1回</p> <p>コスト構造改善に関する相談、指導：随時</p>	<p>コスト構造改善専門部会研修の開催 （i-Construction、働き方改革含む）：3回</p> <p>国土交通省出前講座を活用した研修の開催 ：1回</p> <p>公共工事等技術研究発表会の開催：1回</p> <p>コスト構造改善に関する相談、指導：312件</p>	
成果・課題	<p>コスト構造改善専門部会研修を3回開催し、コスト構造改善マネジメント指針の内容、改正品確法に係る施策、及び i-Construction を含む働き方改革の周知・啓発を図りました。</p> <p>また、国土交通省の出前講座を活用した研修では、i-Construction の国における活用事例の紹介があり、今後の発注工事への展開に繋がる講習となりました。</p> <p>平成25年度から通算して7回目となる公共工事等技術研究発表会を開催しました。その結果、7課から9事例の発表があり、職員の技術力、プレゼンテーション力の向上に繋がりました。審査員からは、もっと職員オリジナルの提案があるとよかった、新しい取組をもっと積極的にといった意見もあったことから、今後の研修の題材等に活かしていきます。</p> <p>コスト構造改善マネジメント指針は、策定後3年を経過する中、今年度も職員研修等により課題の理解を深め、設計審査等により技術的な指導を継続し、生産性向上と財政再建計画を踏まえたコスト縮減を図ってきました。</p> <p>今後とも、コスト構造の改善と品質確保に取り組んでいくため、技術職員が一丸となって、知恵を絞りながらコスト縮減に取り組むとともに、新技術や国の政策等にも注視していきます。</p>		

3	工事現場の適正な施工体制の確保	達成度	
---	-----------------	-----	---

実 行 内 容

目 標

公共工事の品質を確保するため、工事監察として工事現場における適正な技術者の配置や下請負の状況等を確認し、その結果を周知すると共に改善すべき事項については、監督職員等に対して指導、助言し是正を求めます。

また、工事監察を通して適正な施工体制の理解を図るため、監督職員等への工事監察実地研修を実施します。

工事監察の実施

回数	強化期間	実施日	工事監察 [指摘](件)	指摘率 (%)
第 1 回	5 / 21 ~ 6 / 3	5/31、6/5	14 [0]	0.0
第 2 回	7 / 11 ~ 7 / 24	7/24、25	16 [0]	0.0
第 3 回	8 / 14 ~ 8 / 27	8/26、28	21 [0]	0.0
第 4 回	10/18 ~ 10/31	10/30、11/1	23 [0]	0.0
第 5 回	11/21 ~ 12/ 4	12/3、5	21 [1]	4.8
第 6 回	1 / 20 ~ 2 / 2	1/29、31	20 [0]	0.0
計			115 [1]	0.9

取 組 内 容

各工事監察直後に監察結果や指摘事項に対する原因や改善策を技術インフォメーション掲載(6回)

工事監察実地研修の実施・参加率

実施日 第 1 回 8月9日 参加者 26 名

第 2 回 10月9日、15日 参加者 67 名 計 93 名

部 局	研修対象 A (人)	研修参加 B (人)	参加率 B/A (%)	監察件数 C [指摘件数 D] (件)	指摘率 D/C (%)	参考:各部指摘率 (%)	
						前年度 実績	今年度 目標
都市戦略部	4	4	100.0	4 [0]	0.0	27.3	0.0
農林水産部	9	6	66.7	7 [0]	0.0	8.3	0.0
建設部	55	45	81.8	41 [0]	0.0	7.1	5.0
下水道部	19	15	78.9	36 [0]	0.0	4.2	0.0
企業局	26	23	88.5	27 [1]	3.7	14.8	5.0
計	113	93	82.3	115 [1]	0.9	10.3	

数 値 指 標

目 標	結 果 ・ 成 果
工事監察実施回数 : 6回	工事監察実施回数 : 6回
工事監察実地研修 : 2回	工事監察実地研修 : 2回
上記研修に対する参加率 : 60%以上	上記研修に対する参加率 : 82.3%


成 果 ・ 課 題

工事現場における適正な技術者の配置や下請負の状況等を確認する工事監察を目標とする 6 回実施しました。また、監督職員等に対し工事監察実地研修を目標の 2 回実施し、参加率は 60%を超え 82.3%となりました。

結果、工事受注者や監督職員の適正な施工体制に対する理解度が向上し、指摘率は 0.9%で前年度の 10.3%と比べ減少しました。

今後も引き続き、公共工事の品質を確保するための工事監察と実地研修を実施します。

適正な会計事務を継続的に確保していくため、職員の実務能力の向上を図るとともに、
公金の安全かつ効率的な運用に努めます

4	適正な会計事務の執行と公金の効率的な運用	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>法令・規則に基づく収入・支払事務等が適正に行われるよう、主に未受講の職員を対象に会計事務研修会を開催し、職員の会計事務能力の向上を図り、チェック機能を強化します。</p> <p>また、会計事務の理解を深めるための的確な助言・指導や全庁的な課題への注意喚起を適宜行うとともに、会計事務の手引きなどのより一層の充実を図ります。</p> <p>さらに、現金や金券等について、関係所属を対象に取扱状況調査、検査及び指導を行うことにより、現金等の適正な取扱を徹底します。</p> <p>金融情勢及び金融機関の経営状況を注視したうえで、日々の収入・支出見込みを正確に把握し、細心の注意を払い資金管理を行うとともに、安全かつ確実な方法できめ細やかに運用します。</p>		
取 組 内 容	<p>会計事務（出納、財政、財産、契約、監査部門）研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月23日 課長補佐、係長を対象に開催 101所属/101名出席 ・内容 全庁的課題及び定期監査結果(指摘事項等) <p>適正な経理手順の周知・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月 定期監査後の処理手順の見直し ・10月～定期監査後の対応を新たな処理手順で実施 <p>現金等保管状況調査・実地検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月～10月 検査対象 36所属（外、2小学校・1中学校・1こども園） ・2月 改善が必要な所属について改善状況を確認 <p>公金管理運用委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月28日 金融機関経営状況、資金管理及び運用状況等報告 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
会計事務研修会の実施	: 1回	会計事務研修会の実施	: 1回
上記研修に対する理解度	: 90%以上	上記研修に対する理解度	: 90.72%
適正な経理手順の周知・指導	: 随時	適正な経理手順の周知・指導	: 随時
現金保管状況調査・実地検査の実施	: 1回	現金保管状況調査・実地検査の実施	: 1回
公金管理運用委員会の開催	: 1回	公金管理運用委員会の開催	: 1回
成 果 ・ 課 題	<p>適正な会計事務の確保については、留意点にポイントを絞った会計事務研修会の開催及び受講者による職場内研修会の実施により、全職員のスキルアップを図りました。</p> <p>また、定期監査後の処理手順を見直すなどチェック体制の強化を図ったことにより、会計事務上のミスの未然防止につながっています。引き続き適正な会計事務を執行するため、支援及び指導を行っていきます。</p> <p>公金管理においては、日々の収入・支出見込みを正確に把握することに加え、年間の資金の流れを加味することで精度を高め、さらに、年度末の資金調整について関係所属と情報を共有し、安全で確実な資金管理に努めました。</p> <p>今後も適正な会計事務を継続的に確保するため、職員の支援指導を行うとともに、安全で効率的な資金管理に努めます。</p>		